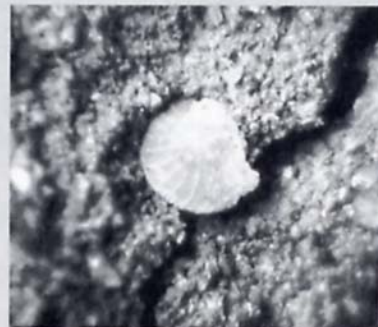


新しい年をむかえ、みなさんはどのような過ごし方でしょうか？さて、今回の話題はズバリ「宝さがし」です。（宝くじではありません）

私たちの町をよーく見てみるといろんな宝ものがあちらこちらに見え隠れしています。町運動公園の北側（沖繩キリスト教短期大学との間）の道路沿いに、道路拡張工事のため切り取られた斜面があります。そこはクチャと呼ばれる粘土性の土壌が姿を見せていますが、この土壌は数百万年前に海の底に堆積してできた土なので、当時のいろんな化石を含んでいます。

よくみられるのは、有孔虫（写真①）という小さな原生動物の化石です。大きさは2〜4mmのものがほとんどで、虫めがねで見ないとよくわかりませんが、繊細で美しい形をしています。まるでとても小さなアンモナイトを見ているようです。そのほかにも、海の貝の化石などがあります。また、凝灰岩ぎょうがいがんと呼ばれる火山性の岩がクチャの間に見え隠れしています（写真②）。この層も、数百万年前久米島付近の火山活動で堆積したも



写真① キラキラ輝く有孔虫の化石

のではないかと考えられています。

その後、数回の地殻変動（土地が隆起・沈降する）により現在の地形がつけられたようですが、この造成斜面にはスランプ（写真③の矢印・海底地すべりのこと）のあとみられます。

このように、ひとつの斜面



写真② 帯状にみえる凝灰岩層

をよーく見ることで、数百万年前の地球の動きがわかったり、化石という小さな宝ものがみつけれたりするんですね。

みなさんも、身近な造成地



写真③ 所々にあらわれるスランプ

や土壌がみえる斜面をよく観察してみると、小さなお宝を発見できるかもしれませんよ。

■お知らせ■

民俗編の落丁について

『西原町史』第4巻・資料編3 西原の民俗のなか

に、落丁がみつかりました。すべてにこのような落丁

があるということではありませんが、念のためみなさんの所蔵なさっている民俗

編のページをチェックしていただければ助かります。

落丁は610ページ以降に、再度287〜610ペ

ージが入り込んでいます。

落丁が発見された場合は、お取替えいたしますので、

町史編集室まで連絡をくださいね。

さいね。

町史編集事務局

☎945-5355